

THEO リアルアセット・ファンド (世界の实物資産中心)

運用報告書 (全体版)

第1期 (決算日 2018年1月31日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、「THEO リアルアセット・ファンド (世界の实物資産中心)」は、2018年1月31日に第1期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合	
信託期間	原則として、無期限です。(設定日:平成29年3月1日)	
運用方針	「THEO リアルアセット・ファンド (世界の实物資産中心)」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の实物資産中心)」の運用方針です。 ①主として世界の投資信託証券 (ETF) に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の实物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。	
主要運用対象	ベビーファンド	THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の实物資産中心) 受益証券を主要な投資対象とします。
	マザーファンド	世界の株式市場に上場されている投資信託証券 (ETF) を主要な投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	①投資信託証券 (ETF) への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	①投資信託証券 (ETF) への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年1月31日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

<照会先>

電話番号: 03-6629-7090

(受付時間: 委託会社の営業日の9:30~17:00)

ホームページ: <https://www.money-design.com/>

 お金のデザイン

東京都港区赤坂1丁目9番13号

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			投資信託 組入比率	純資産 総額
		税分	込配	み金 期騰落		
(設定日)	円		円		%	百万円
2017年3月1日	10,000		—		—	1
1期(2018年1月31日)	9,810		0	△1.9	100.0	14

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		投資信託 組入比率
		騰落	率	
(設定日)	円		%	%
2017年3月1日	10,000		—	—
3月末	9,778		△2.2	99.9
4月末	9,746		△2.5	99.9
5月末	9,684		△3.2	99.5
6月末	9,671		△3.3	99.7
7月末	9,697		△3.0	94.9
8月末	9,743		△2.6	96.6
9月末	9,968		△0.3	99.6
10月末	10,062		0.6	99.7
11月末	10,056		0.6	99.9
12月末	10,183		1.8	99.8
(期末)				
2018年1月31日	9,810		△1.9	100.0

(注) 騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2017年3月1日～2018年1月31日)

期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：9,810円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 1.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、1.9%下落しました。

組入れていたETFの騰落率が、円高を受けて円ベースでマイナスになったことが基準価額の下落につながりました。

投資環境

輸入物価指数は、4.4%の上昇となりました。一方、米ドル円レートは4.0%の円高となりました。

2017年3－4月、フランス大統領選挙を控えて市場の変動性が高まるなか、コモディティや米国不動産が下落する一方、金は上昇しました。5－7月、需給バランス回復への期待から原油が上昇し、その他のコモディティも上昇しました。金は横ばいで、株式市場の上昇と連動して米国不動産も上昇しました。8－10月、石油輸出国機構（OPEC）が減産措置を延長する可能性があるとの期待などを受け、原油を含むコモディティ全体が買われました。米国と北朝鮮を中心とした地政学的緊張を背景に、金や銀が一時上昇しましたが、深刻な事態に至らなかったことにより、結果的には横ばいでした。2017年11月－2018年1月、リビアのパイプライン爆発や、サウジアラビアが原油収入の急増を見込んでいることなどから、原油を含むコモディティ全体が上昇しました。さらに、米ドルの下落を背景に金を買われました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の实物資産等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界の实物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第 1 期
	2017年3月1日～ 2018年1月31日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	58

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）」受益証券への投資を通じ、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の実物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年3月1日～2018年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	39	0.399	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(32)	(0.324)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(5)	(0.050)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.025)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.049	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(5)	(0.049)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	10	0.101	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(9)	(0.091)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(1)	(0.010)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	54	0.550	
期中の平均基準価額は、9,858円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年3月1日～2018年1月31日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心)	千口 14,883	千円 14,689	千口 83	千円 83

○利害関係人との取引状況等

(2017年3月1日～2018年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年3月1日～2018年1月31日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2017年3月1日～2018年1月31日)

設定時 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	当期末残高 (元本)	取 引 理 由
百万円 1	百万円 -	百万円 -	百万円 1	投資信託の当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2018年1月31日現在)

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）		14,799	14,589

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）	14,589	99.8
コール・ローン等、その他	32	0.2
投資信託財産総額	14,621	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の実物資産中心）において、当期末における外貨建純資産（14,587千円）の投資信託財産総額（14,596千円）に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.79円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年1月31日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	14,621,520	
コール・ローン等	25,480	
THE0 リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）（詳細欄）	14,589,252	
未収入金	6,788	
(B) 負債	32,268	
未払解約金	6,788	
未払信託報酬	20,423	
その他未払費用	5,057	
(C) 純資産総額（A－B）	14,589,252	
元本	14,871,117	
次期繰越損益金	△ 281,865	
(D) 受益権総口数	14,871,117口	
1万口当たり基準価額（C／D）	9,810円	

(注) 当ファンドの設定時元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は13,955,163円、期中一部解約元本額は84,046円です。

(注) 1口当たり純資産額は0.9810円です。

(注) 2018年1月31日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は281,865円です。

○損益の状況（2017年3月1日～2018年1月31日）

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	△ 17,798	
売買益	1,419	
売買損	△ 19,217	
(B) 信託報酬等	△ 32,761	
(C) 当期損益金（A＋B）	△ 50,559	
(D) 追加信託差損益金	△231,306	
（売買損益相当額）	(△231,306)	
(E) 計（C＋D）	△281,865	
(F) 収益分配金	0	
次期繰越損益金（E＋F）	△281,865	
追加信託差損益金	△231,306	
（配当等相当額）	(17,937)	
（売買損益相当額）	(△249,243)	
分配準備積立金	68,546	
繰越損益金	△119,105	

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(68,546円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(17,937円)より分配対象収益は86,483円(1万口当たり58円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO リアルアセット・マザーファンド （世界の実物資産中心）

運用報告書

第1期（決算日 2018年1月31日）
（2017年3月1日～2018年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則として、無期限です。（設定日：平成29年3月1日）
運用方針	①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の実物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。
主要運用対象	世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券（ETF）への投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	騰 落 中 率		投 資 信 託 証券 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
(設定日)	円		%	%	百万円
2017年3月1日	10,000		—	—	1
1期(2018年1月31日)	9,858		△1.4	100.0	14

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		投 資 信 託 証券 入 比 率
		騰 落	率	
(設定日)	円		%	%
2017年3月1日	10,000		—	—
3月末	9,782		△2.2	99.8
4月末	9,754		△2.5	99.8
5月末	9,696		△3.0	99.4
6月末	9,687		△3.1	99.6
7月末	9,718		△2.8	94.9
8月末	9,768		△2.3	96.6
9月末	9,998		△0.0	99.6
10月末	10,097		1.0	99.6
11月末	10,095		1.0	99.8
12月末	10,227		2.3	99.7
(期 末)				
2018年1月31日	9,858		△1.4	100.0

(注) 騰落率は設定日比です。

○運用経過

（2017年3月1日～2018年1月31日）

期中の基準価額等の推移

○基準価額の変動要因

当ファンドの基準価額は、1.4%下落しました。

組入れていたETFの騰落率が、円高を受けて円ベースでマイナスになったことが基準価額の下落につながりました。

【基準価額の推移】

（2017年3月1日～2018年1月31日）



投資環境

輸入物価指数は、4.4%の上昇となりました。一方、米ドル円レートは4.0%の円高となりました。

2017年3-4月、フランス大統領選挙を控えて市場の変動性が高まるなか、コモディティや米国不動産が下落する一方、金は上昇しました。5-7月、需給バランス回復への期待から原油が上昇し、その他のコモディティも上昇しました。金は横ばいで、株式市場の上昇と連動して米国不動産も上昇しました。8-10月、石油輸出国機構（OPEC）が減産措置を延長する可能性があるとの期待などを受け、原油を含むコモディティ全体が買われました。米国と北朝鮮を中心とした地政学的緊張を背景に、金や銀が一時上昇しましたが、深刻な事態に至らなかったことにより、結果的には横ばいでした。2017年11月-2018年1月、リビアのパイプライン爆発や、サウジアラビアが原油収入の急増を見込んでいることなどから、原油を含むコモディティ全体が上昇しました。さらに、米ドルの下落を背景に金を買われました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の实物資産等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界の实物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定していません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、世界の实物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを旨とします。定期的に評価基準にもとづいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2017年3月1日～2018年1月31日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 5 (5)	% 0.049 (0.049)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.002 (0.002)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	5	0.052	
期中の平均基準価額は、9,882円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2017年3月1日～2018年1月31日)

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
アメリカ	口	千米ドル	口	千米ドル
ISHARES GOLD TRUST	1,645	20	74	0.937
ISHARES TIPS BOND ETF	357	40	2	0.227
ISHARES US REAL ESTATE ETF	377	30	24	1
ISHARES GLOBAL TIMBER & FORE	40	2	5	0.337
ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	181	8	6	0.269
ISHARES SILVER TRUST	440	7	22	0.357
POWERSHARES DB COMMODITY IND	1,385	21	148	2
POWERSHARES DB AGRICULTURE F	397	7	40	0.784
SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E	31	1	—	—
小計	4,853	138	321	7

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2017年3月1日～2018年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2017年3月1日～2018年1月31日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2018年1月31日現在)

外国投資信託証券

銘柄	口数	当 期 末		比 率
		評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千米ドル	千円	%
ISHARES GOLD TRUST	1,571	20	2,192	15.0
ISHARES TIPS BOND ETF	355	40	4,357	29.9
ISHARES US REAL ESTATE ETF	353	27	2,970	20.4
ISHARES GLOBAL TIMBER & FORE	35	2	292	2.0
ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR	175	7	864	5.9
ISHARES SILVER TRUST	418	6	734	5.0
POWERSHARES DB COMMODITY IND	1,237	21	2,298	15.8
POWERSHARES DB AGRICULTURE F	357	6	735	5.0
SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E	31	1	140	1.0
合 計	口数	金額		
	9	134	14,585	
	銘柄数 < 比率 >	—	<100.0%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2018年1月31日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	14,585	99.9
コール・ローン等、その他	11	0.1
投資信託財産総額	14,596	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（14,587千円）の投資信託財産総額（14,596千円）に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=108.79円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2018年1月31日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	14,596,701
コール・ローン等	10,862
投資信託受益証券(評価額)	14,585,839
(B) 負債	6,788
未払解約金	6,788
(C) 純資産総額(A-B)	14,589,913
元本	14,799,404
次期繰越損益金	△ 209,491
(D) 受益権総口数	14,799,404口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,858円

(注) 当ファンドの設定時元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は13,883,036円、期中一部解約元本額は83,632円です。

(注) 2018年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・ THEO リアルアセット・ファンド（世界の実物資産中心） 14,799,404円

(注) 1口当たり純資産額は0.9858円です。

(注) 2018年1月31日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は209,491円です。

○損益の状況（2017年3月1日～2018年1月31日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	97,870
受取配当金	97,838
受取利息	32
(B) 有価証券売買損益	△113,322
売買益	426,081
売買損	△539,403
(C) 保管費用等	△ 99
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 15,551
(E) 追加信託差損益金	△194,036
(F) 解約差損益金	96
(G) 計(D+E+F)	△209,491
次期繰越損益金(G)	△209,491

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。